

## 埼玉県勤労者山岳連盟第51期 定期総会大盛會に終わる

2018年3月25日（日）午後13：00よりさいたま市高鼻コミュニティセンターで第51期定期総会が開催されました。13：40 尾手書記局長より挨拶。議長選出要請により上福岡山なみハイキングクラブの若木氏、わらび山の会の伊藤氏が決まる。書記には、大宮労山の塩田氏と熊谷トレッキング同人の木村氏、総会運営委員は瀬下理事と決定した。

若木議長ご挨拶の後、武笠理事長より理事会を代表して力強い挨拶があった。

沢ネット死亡事故があり再発防止に向けて、ネット活動の廃止を決断したがこれを乗り越え「明るく楽しい登山活動」を推し進めて進めて行く。

ご来賓の浦添全国連理事長と栗原英一東京都連事務局長からご挨拶を頂いた。

埼玉より全国連理事選出のお礼と平和で安全な登山を目指す取り組みについて。

また都連からは、11月に奥多摩にて登山フェスタを開催する旨のお話しを頂戴した。

その後、資格審査報告が岩岡福理事長より報告され代議員定数58名の所、出席代議員36名、

委任状13名、合計49名で成立との確認が報告され、若木議長が総会成立宣言をする。

瀬下理事から次年度役員選出の説明（立候補15：00まで受付）があった。

議事進行表に沿い50周年記念を含めた2017年度の報告並びに資料集についての説明、

各委員会活動報告が担当理事よりされた。（休憩）15：25再開。

伊藤議長に交代し2017年活動報告に対する質疑が行われた。

主な質疑としては、

岩ネットを含めたネット活動の廃止について、各会からの意見が集中した。

要点としては、登山学校等を含め各会では対応が難しい登山技術の教育を県連が担う部分があり、（廃止される）岩ネットもアルパイン志向の若手会員の獲得に寄与していた。

今回、理事会の判断にて（各会の意向を踏まえずに）廃止するのは、如何なものか。

これに対して、尾手事務局長より死亡事故を受けて理事会にて慎重に論議を重ねた結果である事と理事会の決議をもってネットの改廃について判断できる事が示された。

なお各会からの要請が強い事もあり、ネット活動は廃止するものの今後の在り方については論議・検討を続けて行く事となった。

第50期活動報告は、賛成多数（保留数人）をもって16：15に可決された。

2017年の決算報告は矢吹副理事長の説明と土岐田監事、佐藤監事の会計監査報告があり

2018年度の予算案とあわせて、16：30に採決、承認された。

なお繰越金の減少とともに、第52期には連盟費の改定が必要な点の収支説明があった。

時間が押して来た為、第51期活動方針（案）を全体まとめて提起し16：50賛成多数で可決した。

16：50選挙管理委員から、理事の加藤（義）、鈴木、吉本、千葉、石谷、宇田川、佐藤の退任と新役員、海妻（日進）、加藤（学）（大宮）、奥村（所ハイ）、嶋田（新座）、伊藤（）ご紹介があった。

第1回の理事会が開催されて理事長、副理事長、事務局長の三役は続投となる事が決議された。

理事長：武笠真次、副理事長岩岡宏保（中部）、矢吹英則（西部）、高野久美（南部）

事務局長：尾手利雪 が選出された。

武笠理事長から退任者への記念品贈呈があり、高野副理事長のご挨拶で17：00閉会となる。

総会のご意見を踏まえて、県連参加の山の会が一丸となり、楽しく、元気に安全登山の活動をしていけるようみんなで力を出し合って頑張りましょう。（加藤・記）

